

ありがとう  
ございました



# Blood Information

ブラッド・インフォメーション

献血月刊情報 2024年7月号

〔発行元〕岩手県赤十字血液センター献血推進課  
〒020-0831 岩手県盛岡市三本柳6-1-6  
TEL: 019-637-7201

## CONTENTS

- ✓コミックマーケット104献血応援イベント開催決定!
- ✓「血漿」の必要量が増加しています!

## TOPICS

### コミックマーケット104献血応援イベント開催決定!

今年も「コミックマーケット104 献血応援イベント」の開催が決定しました☆「コミックマーケット献血応援イベント」は、コミックマーケット参加企業が社会貢献の一環として、減少傾向にある若年層及び献血初回者の確保を目指し開催されます。

対象期間中にもりおか献血ルームメルシーにて400mL献血にご協力いただくと、ポスターセットをプレゼントいたします!ぜひ、この機会に献血をよろしくお願いいたします。

#### ◆開催期間

2024年8月11日(土)  
～ 2024年9月30日(月)

#### ◆対象者

期間中に400mL献血をされた方  
(スタッフへお申し出ください。)

#### ◆記念品

ポスターセット(3枚組・A1ポスター)  
・TVアニメ「天久鷹央の推理カルテ」  
・劇場アニメ「メイクアガール」  
・TVアニメ「カードファイト!! ヴァンガード」

#### ◆岩手県内の対象献血会場

もりおか献血ルームメルシー



血漿を原料にして作られる免疫グロブリン製剤は神経系の病気の治療になくてはならないものです。特に、風邪や下痢の後に急激に手足の麻痺が生じるギラン・バレー症候群や、国の指定難病の一つである慢性炎症性脱髄性ニューロパチー・多層性運動ニューロパチーでは、現在治療手段の中心となっています。これらはいずれも免疫異常によって起きる末梢神経の病気で、手足の麻痺やしびれのために日々の生活に支障をきたしますが、免疫グロブリン製剤は、これらの障害の進行を抑え、症状の回復を促進させます。

こうした背景から、神経の病気においてもより強力な免疫グロブリン療法に対する、医療現場からの期待、要望は高まっています。その点からも、日本国内での献血からしっかりとした管理のもとで作られる、安心・安全で良質な免疫グロブリン製剤を安定的に供給する必要があります。

血漿分画製剤用の原料血漿の必要量が増えたことにより、血液センターでは以前より多くの血漿成分献血のご協力を必要としております。

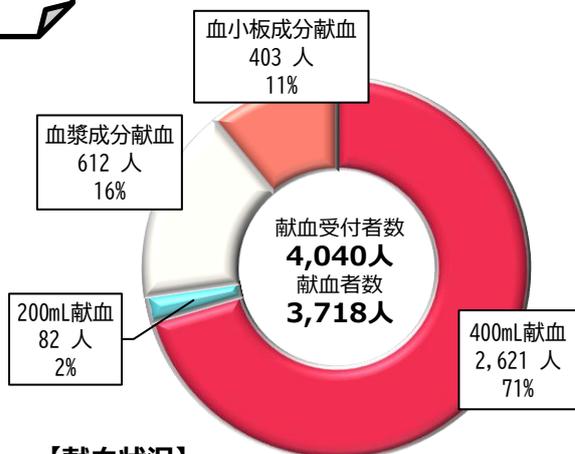
成分献血は、岩手県内ではもりおか献血ルームメルシーでのみ可能です。全血献血の経験はあるけれど、成分献血の経験は無い方など、この機会にぜひ献血ルームへ足をお運びください。



Data

岩手県の献血・供給状況（6月）

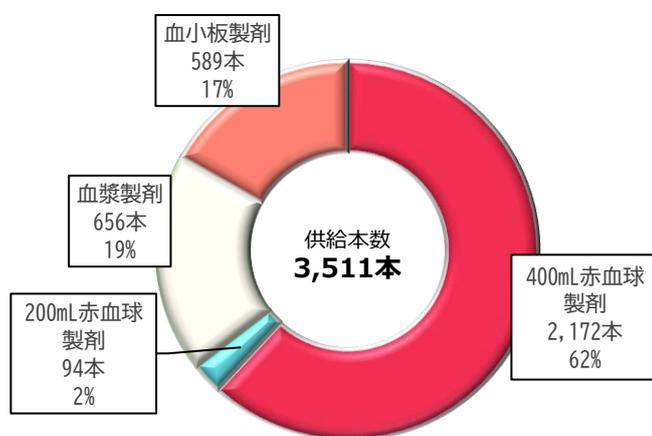
岩手県の献血状況



【献血状況】

全血献血は200mL換算で**5,324本**、400mL献血率（400mL献血者数/全血献血者数）は**97.0%**でした。

岩手県の供給状況



【供給状況】

血漿製剤は血漿成分献血からだけではなく、200mL献血や400mL献血からも作られています。

ホームページでも閲覧できます。

岩手県赤十字血液センターホームページ <https://www.bs.jrc.or.jp/th/iwate/index.html>

